

## 2019年度 入学試験問題

(A日程入学試験 2月4日)

# 数 学

### 注 意 事 項

1. 解答用紙は、中程に折り込んであります。
2. 解答用紙には、受験番号および氏名を忘れずに記入して下さい。
3. 解答は、問題ごとに解答用紙の所定の欄に記入して下さい。
4. 解答には、答えだけでなく、途中の考え方も記入して下さい。
5. 問題用紙は、1ページから4ページです。  
解答用紙は、2枚です。  
万一枚数が足りないときは、手を挙げて合図して下さい。
6. 試験終了後、問題用紙は各自持ち帰って下さい。



□ 1 次の不等式を満たす整数をすべて求めなさい.

$$14x - 48 < x^2 \leq 10x - 21$$

②  $a > 0$  とする.

2次関数

$$f(x) = x^2 - ax + 5 \quad (0 \leq x \leq 5)$$

の最小値が  $-4$  となる定数  $a$  の値を求めなさい.

- ③ 5個の数字3, 4, 5, 6, 7から, 異なる3個を用いて, 3桁の整数をひとつ作るとき, 540以上となる確率を求めなさい.

4 (1) 頂点座標が $(2, 4)$ で点 $(0, 3)$ を通る放物線の方程式を求めなさい.

(2) 放物線  $y = x^2$  を  $x$  軸方向に  $k$  平行移動して得られる放物線の方程式を  $y = f(x)$  とする. (1) で求めた放物線と放物線  $y = f(x)$  が接するとき,  $k$  の値を求めなさい. ただし,  $k > 0$  とする.

(3) (2)における接点の  $x$  座標を求めなさい.

## 数学 解答用紙(1/2) (A日程入試2月4日)

総計	
----	--

氏名	
----	--

受験番号					
------	--	--	--	--	--

小計	
----	--

1

$$14x - 48 < x^2 \text{ より, } x^2 - 14x + 48 = (x-6)(x-8) > 0$$

これを解いて,  $x < 6$  または  $x > 8$  … ①

$$x^2 \leq 10x - 21 \text{ より, } x^2 - 10x + 21 = (x-3)(x-7) \leq 0$$

これを解いて,  $3 \leq x \leq 7$  … ②

①, ②より,  $3 \leq x < 6$

したがって, 求める整数は 3, 4, 5

2

$$f(x) = \left(x - \frac{a}{2}\right)^2 - \frac{a^2}{4} + 5$$

(i)  $0 < a \leq 10$  のときの最小値は  $f\left(\frac{a}{2}\right) = -\frac{a^2}{4} + 5 = -4$

これを解いて,  $a = 6$

(ii)  $a > 10$  のときの最小値は,  $f(5) = 30 - 5a = -4$  なので,  $a = \frac{34}{5}$

しかし, これは条件に反する.

(i), (ii)より,  $a = 6$

3

3桁の整数を作るときの順列は,  $5 \times 4 \times 3 = 60$  通り.

一方, 作った整数が

1) 54X となるときの組合せは, 3通り.

2) 56X となるときの組合せは, 3通り.

3) 57X となるときの組合せは, 3通り.

4) 6XX となるときの組合せは,  $4 \times 3 = 12$  通り.

5) 7XX となるときの組合せは,  $4 \times 3 = 12$  通り.

したがって, 求める確率 =  $\frac{3+3+3+12+12}{60} = \frac{33}{60} = \frac{11}{20}$

## 数学 解答用紙(2/2) (A日程入試2月4日)

氏名	
----	--

受験番号					
------	--	--	--	--	--

小計	
----	--

4

(1)

放物線の方程式を  $y = a(x-2)^2 + 4$  とおくと、

これが、点  $(0, 3)$  を通ることから、 $3 = 4a + 4$

これを解いて、 $a = -\frac{1}{4}$

したがって、求める方程式は、 $y = -\frac{1}{4}(x-2)^2 + 4 = -\frac{1}{4}x^2 + x + 3$

(2)

$f(x) = (x-k)^2 = x^2 - 2kx + k^2$  なので、

$$x^2 - 2kx + k^2 = -\frac{1}{4}x^2 + x + 3$$

これを整理して、 $\frac{5}{4}x^2 - (2k+1)x + k^2 - 3$

この2次方程式の判別式が0となればよいので、

$$D = (2k+1)^2 - 5(k^2 - 3) = 0$$

整理すると、 $k^2 - 4k - 16 = 0$

これを解いて、 $k = 2 \pm 2\sqrt{5}$

条件  $k > 0$  より、 $k = 2 + 2\sqrt{5}$

(3)

(1)の方程式より、 $y' = -\frac{1}{2}x + 1$

一方、 $f'(x) = 2x - 2k$

接点では、接線の傾きが等しいので、

$$-\frac{1}{2}x + 1 = 2x - 2k$$

したがって、 $x = \frac{4k+2}{5} = \frac{4(2+2\sqrt{5})+2}{5} = 2 + \frac{8}{5}\sqrt{5}$